

「歴史を勉強し、若さを生かせ」 稲葉興作・日商会頭、商青連役員と懇談

稲葉日商会頭が青年部への期待を大いに述べた。日本経済が本格的な不況脱出の糸口すら見えず、構造転換を迫られるなか、これからの青年経済人が、いかに生き残り、いかに行動すべきかを、東海特別会議室は熱気に包まれた。

稲葉会頭の就任当初の懇談会が開かれたのは、昨年10月11日。商青連演説から出席したのは稲葉興作・日商会頭以下約40名でした。

はじめ、稲葉会頭から「私たちは、この日をこれだけ楽しみに待った。ここから始めよう」と稲葉会頭への激励が述べられ、商青連の現状についての説明がありました。

これに対して、稲葉会頭からは「青年部のメンバーと親しくお話しができる機会を得て喜んでいます。今日は時間もあまりありませんが、またの機会に話し合いをしたいと思います」とあいさつがありました。

商青連に対しては「全国

組織であるが、コソコソの裏工作を隠してはいけません。大いに声がかしてはいい。日本は戦後の苦難から立ち上がり、今日の繁栄を築いたが、そういうことが歴史や過去についてしっかりと勉強してほしい」と激励されました。

稲葉会頭からは、内外関係、産業の分野、時アジア上の経済動向のありかなどについての説明がありました。

これについて、稲葉会頭は「大きなチャンス、大チャンス、大チャンスが、人件費など製造コストが安く、日本の企業はほとんど海外に出て行く。アジア地域では「日本企業」は、10万人の雇用者がいる、

本国内で雇用が伸びる意味では当然のことかもしれない。容易な事柄ではない。日本は高い技術水準を保持して、さらに改良して行く。これにあり得ないと思う」と語りました。

特に、中小企業が生き残るには、アメリカの上場企業にベンチャー企業が対応する必要がある、規制を撤廃する必要がある、規制撤廃の制度も改められている」といった新産業の必要性を指摘した。

稲葉会頭は「一層上を向いて、人を動かす。そして高いレベルを見つけて、日本人材育成の問題が大きい。他人が真似できない技術や



働き、システムを開発することだ」と、自助努力を促すことも話された。

最後に「明日からは、現場から変わらぬ行動が求められる。日本全体を一つの有機体として運営すればいいと思う。そう思う」と締めくくりました。

静岡YEEGに最優秀賞 平成6年度会報コンクール

商青連の加入全地区を対象にした、平成6年度商青連会報コンクールが、3月の役員総会の席上、入賞作品の表彰がありました。

今年度の応募は前年より更に増え、昨年より更に増え、更に、平瀬祥樹君の「文芸」が選ばれました。同誌は制作スタッフが、アイデア、記事の内容が新鮮に感じられ、高い評価

を得ました。また、その中の入賞作品も青年部らしい工夫が盛り込まれ、いずれも秀作ばかり。

会報コンクールは今年度で4回目を迎えましたが、年々レベルが高くなってきています。会報コンクールの内容を紹介して活動がはたかどりますが、定期的に配布されているものもあります。その他の入賞作品は別号の通り。

賞	青年部名(県名)	会報名
最優秀賞	静岡(静岡)	VOICE
優秀賞	佐賀県(佐賀県)	わーい
	香取(徳島)	RANPOD(藍島)
アイデア賞	佐賀県(長崎)	しととつ
ユニーク賞	川口(埼玉)	Imnovation
	足利(新潟)	A-YEG
努力賞	相模(北海道)	Q2
	奈良(奈良)	なら大鼓
特別賞	浜松(静岡)	The next
	鈴鹿(三重)	CHALLENGER

積極果敢にチャレンジ! 商青連全国会報コンクール最優秀賞を受賞して 静岡商工会議所青年部



このたび、商青連の全国会報コンクールで最優秀賞を受賞いたしましたことは、身に染みる栄誉であり、心からお礼申し上げます。

稲葉会頭の「YEEGのアイデアを提案する」は、JCCをはじめ創刊以来の歴史の中で、静岡YEEGの行動理念を改めて考え直している企業であり、法人青年部、JCCとの連携、会報アイデア調査、YEEG宣言の解説といふ多岐にわたる。会報の多くが実現して後団体にも関係していることから、様々な団体の調整を要しながら、地域社会の活性化に情熱を注いでいます。委員もメンバーの知恵と汗の結晶が、今回最優秀賞という文字通り絶頂の形で報われ、今後の大きな励みとなりました。

本誌にありがとうござい

(会長 大石健二)

特集 全国各地の青年部活動レポート

"明日への創造 地域に挑むYEG"

異業種・同業種交流そして地域連携軸...交流こそYEGの原点。ネットワークづくりが、若き企業家集団であるYEGの課題です。変革の時代を、それぞれの地域で奮闘する青年部は、たくましく切り開こうとしています。北から南から寄せられた青年部レポートです。

Jリーグの夏季合宿を恵庭に 恵庭商工会議所青年部 北海道ブロック



現在、当青年部では、恵庭市の恵まれた立地条件を活かし、Jリーグの夏季合宿の誘致に向け、運動を展開しております。このためには、選手のグラウンドが最も必要とされており、本市には1面もないのが現状です。効果的に利用出来る多目的広場を建設すると共に近隣市町と連携を計り道中圏をJリーグの合宿のメッカに...

F-1通じ「出会いふれあい」 鈴鹿商工会議所青年部 東海ブロック



若者の街、鈴鹿。その代表とも言える「F-1」F-1世界選手権の日本グランプリレースが鈴鹿サーキットで開催されています。このビッグイベントに合わせて当青年部では、サーキット内や周辺の主要幹線道路、駅などにフェルカムの気持ちを込めて各々のほり旗を揚げたり、市内の83店舗の露店や鈴鹿市内一円で「出会いふれあい」情報マップF-1特撮等10万部を配布しました。...

「商工まつり」の中核的存在 和泉商工会議所青年部 近畿ブロック

当青年部は、昭和53年7月和泉市商工会青年部として発足し、平成6年4月商工会議所青年部として新設にスタートしました。現在の会員数は80名で組織・総務・研修・事業の4委員会から構成されています。主な事業としては経営に関する研修会の開催をはじめ、地域振興事業、福祉推進事業等数多くの事業を実施しております。中でも、地域振興事業として、毎年秋に開催しております「和泉市商工まつり」が都市活性化フェ



津軽で行う産業博を提案して4年目を迎えます。市、商工会議所、農協を主体とした協議会も全体の流れがスムーズになってきました。今年度は「明日への創造」をメインテーマに近隣市町村の横輪ネットワークの構築に向けて、我が青年部特別委員会が昨年4月より走り回りました。その結果、県内より26町村の参加は今年度には「明日への創造」以来です。11月3日より4日間、約3万人の人々で賑わう産業博となりました。開期中、参加町村懇談会を

スポーツ文化の創造を目指して 平塚商工会議所青年部 関東ブロック



思えば平成5年の夏、ベルマーレ平塚・Jリーグ入り「絶望的」とマスコミ各社の報道から1年半余り。昨年のJリーグ後期ニコスシリーズでは2位、元日にシわれた天皇杯では堂々の優勝。新聞の紙面に「平塚」の2文字が躍ることは、我々YEGも喜ぶことながら、市民に街に対する誇りと大きな感動を与えてくれることは確かです。...

「大名行列」を復活 柳井商工会議所青年部 中国ブロック

昭和63年3月商工会議所8番目の息子(部会)として、青年部は誕生致しました。我々青年部のモットーは、何事も「まあとってみるか、結果はその後」の一見いかにいかなうと、トライ精神です。そんな我々の主な活動は次の通りです。①柳井天神古祭り・大名行列の実施。古くより行われていた大名行列が、様々な理由で3年中断してしまいましたが、平成5年に青年部が復活させ、今後も継続して行く。

10周年で、市民にふるまい鍋 今治商工会議所青年部 四国ブロック

今治商工会議所青年部創立10周年記念事業・式典・懇親会を11月5日に開催しました。記念事業は、本町1丁目商店街で、来島の海の手をふんだんに盛り込んだ来島水軍鍋2千人分を市民にふるまいました。会場には直径1.5メートル、高さ1.3メートルの大釜を据え、タイ100匹、クルマエビ2千匹をはじめ、厚揚げ、サトイモなどを、今治郷土料理普及協議会の協力により調理しました。...

好評！市民に開かれた講演会 五泉商工会議所青年部 北陸信越ブロック



当青年部では、設立以来、活動目標にもあるように、青年部員としての自己啓発と、自己啓発をはかること、地域の人々に青年部の活動のPRをかかて中央部の著名講師を招き公開講演会を開催しています。過去には、野村克也氏、無着成恭氏、新堀博明氏、笹沢左保氏を招き、部員はもと

出逢う喜びを再発見！ 鹿児島商工会議所青年部 九州ブロック



こんにちは、みなさん鹿児島商工会議所青年部の私です。経営情報委員会は、経営

をテーマに、毎月1回地元で現在活躍されている経営者の方を囲んで勉強会を開いています。ふだん、なかなか接点のない方と実際に話を交えてのお話しに、会員が非常に刺激され、自己啓発のきっかけになっています。そして、ざっくばらんな雰囲気なかでの質疑応答が、講師者と会員との親密なおつきあいの、出逢いの場となつてゆくと、会員が楽しみにしています。...



翔生 Communication PLAZA

新設！ビジネス交流プラザ

こんな情報を伝えたい・聞きたい

この「翔生」は、会員の皆様の情報交流の場として設けられたものです。

昨年と開かれた長崎での全国大会でビジネス交流プラザは、多くの参加をいただきました。

そこで、今後は「翔生」の範囲を会員の皆様に拡大し、全国のネットワークをそれぞれの手で全国大会で活用していただくということになりました。

●「翔生」の目的は「交流と連携」であることが最も重要です。近年の相互の交流と連携は「国土橋」・地域連携であり、個人相互の交流と連携は「近くの異業種」がより。

●「翔生」の目的は「交流と連携」であることが最も重要です。近年の相互の交流と連携は「国土橋」・地域連携であり、個人相互の交流と連携は「近くの異業種」がより。

☆新商品

商品名	要項	連絡先	住所	電話番号
平成5年生うどん	富士の伏見水と最高級小麦を原料 新製法による平織生麺です。	新アイメン	沼津市新沢町3-9	055-27-0345
イーエス製 パーキング装置	業界一の駐車場システム紹介	松山山崎会	長崎市出船町3-10	095-29-1021

☆販売代理店募集

商品名	要項	連絡先	住所	電話番号
シヤキツ小巻	北国あきたのテイク企業	秋田県アムドエム	秋田市大町2-7-34	018-62-8307
人情屋台	人情屋台支那店経営	人情屋台版	大宮市又沼町1-523-1	048-545-0766
ルーフボックス	田舎のルーフボックスの紹介	ソフトプラン工業部	浜松市東区向島372-22	053-448-3111
健康食品 アロマの24ユー	目と眼を養うに健康食品	(有)タイケイ教育	大阪府東淀川区中津島1-325	057-46-1326
カタログ販売	新商品のカタログ制作で売上アップ	ETIカラー印刷	新宮市緑が丘2-3-6	056-23-1266
食品	鳥産物等の仕入れ先求む	徳力ナカ	岡山県瀬州市小郡266-4	086-24-0550
コーヒー	自家焙煎コーヒーの宅配販売	西アムル	岡山県瀬州市伏見町1322	086-24-3081
小豆加工品	世界初の小豆加工品	物産仲	高松市新田町614-1	027-43-0201
かつおたたき (岩盤)	日本一おいしいかつおたたき	土佐料理司	高松市南陽町1-7-15	086-29-1388
シーフード 刺身、惣菜、お弁当	代理店募集	徳力コーポレーション	鎌倉市八天町3-14	056-22-0306
カレーライス	FC加盟店募集	Kアース	別府市北浜1丁目5-8	097-21-0313
レーザープリンタ	ミニ洋器販売店募集	南バーボン	大分県東国吉市新町3-2	097-62-8203
かるかん、お餅	かるかん・お餅の自産自銷 全国の各地販売店供給	海風屋	松岡市西鹿島12640	093-72-8540

☆企業PR

商品名	要項	連絡先	住所	電話番号
和洋菓子	高級和洋菓子のめんこのお菓子 みちのくの名産品を伝えます	興ラグノオオタキ	弘前市石石町9	018-26-0323
漬物	創業百年伝統の味をみちのくから	ハコヤの食品工業部	花巻市瀬川口字沢沢21	019-55-0229
菓子	塩梅味の長寿本舗の伝統菓子	丹六園	宮城県塩竈市宮崎3-12	022-362-2678
書籍CD七か かがの巻	ユメ王国新編から全国へ発送	松屋書店	新潟県五泉市吉沢2-2-3	0250-42-2340
音楽制作企画	CD・LDM企画制作 (音楽から書籍まで)	新日本録音企画	埼玉県浦和市1-1-11	048-020-0366
究極の食品	究極の食品、究極の味、究極の香り 究極の味を究極の味で再現します	長谷川究極	東京都葛飾区新田3394-2	03-76-11311
菓子	雪山山頂の味を再現するお菓子 雪山山の味を再現します	松本田	新潟市松本3-265	075-34-2881
水産加工品	瀬戸内のエビだけのせんべい 伝統技術によりお餅まで作り	瀬戸久屋	福岡市東区新町999-1	092-75-3579
醤油	百年の歴史を伝えています	広瀬醤油	高松市一宮町1819-3	087-82-1781



ビジネス交流プラザ



同業種交流を考える (商青連研修委員長・小谷寛)

同業種交流を考える

(商青連研修委員長・小谷寛)

同業種交流は必要不可欠なものである。近年の同業種交流が、現在の業態のみを対象としていたのに対して、将来的に考えられる同業種交流は、多岐化のため、新規分野へ参入を希望する者にも門戸を開くようと考えています。

同業種交流は、その地域に合った形で進められることも期待されます。同業種交流の推進が地域に貢献する青年団(単念)に、より積極的なサポートをもちたいと考えています。

活かせ 全国ネットワーク

(商青連特別委員長・賢木新悦)

「Y」が「Y」のネットワークを打つことは、Yの活動の原点を再確認できたことだと思います。

今年、Yは「Y」のネットワークを打つことは、Yの活動の原点を再確認できたことだと思います。

今年、Yは「Y」のネットワークを打つことは、Yの活動の原点を再確認できたことだと思います。

『直接交流・直接実感・彩の国』

集えば多士彩々

平成7年度全国大会は大宮市で



第15回商工会議所青年部全国大会が開かれる埼玉県大宮市。

平成7年度「第15回商工会議所青年部全国大会」は、首都圏での初めての大会として、埼玉県商工会議所青年部連合会主催のもと、大宮市において開催させていただきます。

大宮市という地名は、武蔵国一の宮・本川神社を、「大宮」として、江戸時代には中野の宿場町として繁栄し、江戸上野町と結ぶ交通の要衝として繁栄を続けてきました。

近代になり、鉄道の分岐点の重要な町として位置づけられ、東北・上野新幹線の始発駅となったことはまだ記憶に新しいことと想います。

その後、新幹線は上野、東京へとつながりましたが、新幹線都市として、政令指定都市へと、歩みを進めてまいりました。

また、埼玉県は、平成4年11月1日「県の日」に、

「夢」でありました。全国大会開催を望み出されることをこの上なく歓迎いたします。この大会を主催する青年部連合会と、商工会議所青年部連合会との連携を、この大会を通じて、

「夢」でありました。全国大会開催を望み出されることをこの上なく歓迎いたします。この大会を主催する青年部連合会と、商工会議所青年部連合会との連携を、この大会を通じて、

「明日への創造」地域に結びYEGのネットワークのもと、全国各地を訪問させていただきます。各所でYEGの仲間が活気にあふれる姿を見ることができ、多くの出会いと友情を育む機会をいただいております。

この一年を振り返ります。この内外を問わず、経済界に貢献し、それに自然な形で貢献し、それによって、

政治においては政策を編成、加担での高次元な取り組み、新しいシステム、新しい秩序を構築しております。

この一年は、新緑のカラーブックで行われた第二回大会、年度役員研修会、15か国訪問、日本経済を支援していただいた関係者、専任、役員、日本商工会議所青年部連合会との連携を、この大会を通じて、



「二年を振り返って」

平成六年度会長 佐藤 善三郎

「二年を振り返って」



大会会長 大村 篤利

1995年.11月16日(木)~17日(金)

- 主催/全国商工会議所青年部連合会・日本商工会議所
- 主幹/埼玉県商工会議所青年部連合会
- 開催地青年部/大宮商工会議所青年部

皆様のお陰をもちまして、どうかお喜びを申し上げます。今年度は、皆様のお陰をもちまして、どうかお喜びを申し上げます。今年度は、皆様のお陰をもちまして、どうかお喜びを申し上げます。

西藤 伸一(初志)

この大会を主催する全国商工会議所青年部連合会と、埼玉県商工会議所青年部連合会との連携を、この大会を通じて、

西藤 伸一(初志)

この大会を主催する全国商工会議所青年部連合会と、埼玉県商工会議所青年部連合会との連携を、この大会を通じて、

